





ボーリング柱状図

調 査 名 一級河川 太田川水系 杉坂下川砂防事業に伴う測量設計等業務委託

ボーリングNo								
---------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No

ボーリング名	No. 1		調査位置		東広島市志和町 志和堀地内							北緯		34° 30' 10.09510"		
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所					調査期間		平成 31年 2月 7日 ~ 31年 2月 13日					東経		132° 41' 13.12696"	
調査業者名			主任技師				現 場 代 理 人				コ 鑑 定 者		ボーリング 責 任 者			
孔 口 標 高	331.988m	角		方		地盤勾配		使用機種	試錐機	D1-B (東邦地下)		ハンマー 落下用具	半自動落下			
総掘進長	8.00m	度		向				エンジン	NFD-13 (ヤンマー)		ポンプ	BG-3 (東邦地下)				

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相對 密度	相對 稠度	記 事	孔内 水位 (m) ／測定 月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取 方法	室内試験 (月日)	掘進 日									
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数 ／貫入量 (cm)	深 度 (m)	試験名 および結果				深 度 (m)	試料 番号							
												0 10	10 20	20 30															
	331.44	0.55	0.55		粘土質砂	褐			表層10cmは草根が混ざる。 以深、マサ土起源の崩積土砂。																				
1					強風化花崗岩	褐灰	中位		花崗岩強風化帯。 芯部まで風化が進み、土砂化が著しい。 岩構造を明瞭に残すも、指圧で容易に圧砕され、砂質土状を呈する。 深度方向にN値が増加する傾向が顕著である。 DL級、砂質土に区分	2/13 130	1.15	5	5	6	16 30	16													
2										1.45																			
3	328.84	2.60	3.15							2.15	7	8	10	25 30	25														
										2.45																			
4	327.49	1.35	4.50		強風化花崗岩	褐灰	密		花崗岩強風化帯。 芯部まで風化が進み、土砂化が著しい。 上位に似るも、密である。 岩構造を明瞭に残すも、指圧で容易に圧砕され、礫混り砂状を呈する。 DM級、礫質土に区分。	3.15	9	13	17	39 30	39														
										3.45																			
										4.15	13	15	19	47 30	47														
										4.45																			
5					風化花崗岩	褐灰	極密		花崗岩の風化帯。 上位に似るも、非常に密である。 指圧にて圧砕したコアには細礫が点在する。 DM級、軟岩IIに区分	5.15	19	25	6 2	50 22	68														
										5.37																			
6										6.10	13	23	14 4	50 24	63														
										6.34																			
7					風化花崗岩	褐灰	極密		花崗岩の風化帯。 上位に似るも、非常に密である。 指圧にて圧砕したコアには細礫が点在する。 DM級、軟岩IIに区分	7.15	15	25	10 2	50 22	68														
										7.37																			
										8.05	16	29	5 1	50 21	71														
8	323.99	3.50	8.00							8.25																			